

N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO: PO Box 6414 Lincoln NE 68506 USA www.nsdapao.org

#1048 16.04.2023 (134)

エンサイクロペディア - Michael Kühnen

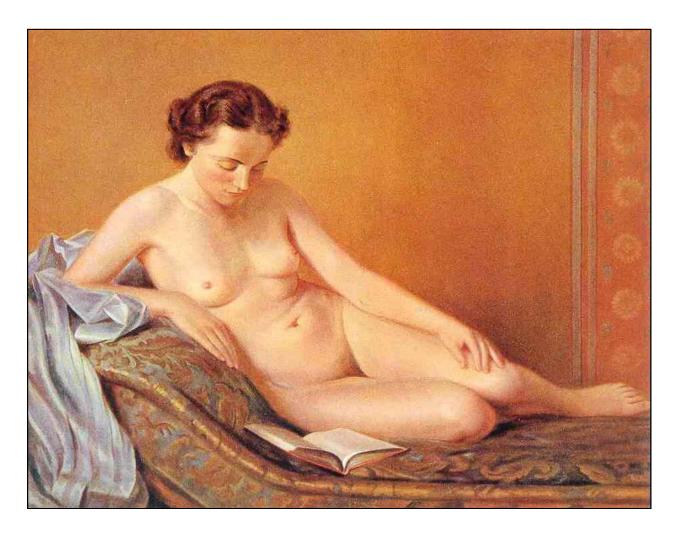
62 - 文化大革命

文化革命とは、権力闘争のレベル以下において、ある種の社会的不満、 出来事、習慣に対して大衆を動員することによってのみ、今日のマイナス 世界の退廃に反し、それによって人生と生活に対する態度を変える国家社 会主義革命の一部を理解することが必要である。文化大革命の基本的な生 活態度は、反抗の態度である。

したがって、文化革命の目的は、権力関係を変えることではなく、行動と態度を変えることであり、その結果、国家社会党(国家社会主義ドイツ労働者党を参照)による権力の持続的行使の基礎を作ることであった。文化大革命は、国家社会党が権力を握る前と後の二つの段階に区別される。

権力掌握の前に、文化革命は、ブルジョアの退廃的な生き方(ブルジョアジーを参照)に対して大衆を動員し-権力獲得を目指す政治闘争を超えて-、不平不満を反抗に高め、その結果、人々を革命の必要性の実現に導いていくのである。FRGでは、文化革命は、現在の主力であり、アーリア人種の退廃の主犯であるアメリカニズム(アーリア人を参照)に対して主に向けられる。全体として、このことは、ドイツ文化革命を、新戦線の戦術の重要な一部にしている。

権力掌握後、文化大革命は、特に青年の反骨精神を保持し、国家社会主義人民国家のボンゼ支配(国家を参照)への堕落を防ぎ、新秩序の実現ま



での新世代の生活態度を形成していくのである。文化大革命のモットーは、次のとおりである。

反乱は正義だ!

プログラム的には、ドイツ文化革命は、NSDAPの党綱領の23番目に位置づけられる。

63-ハビタット

自己決定権には、人種・民族・グループが生存、より高い発展(種の保存と発展)、自由を得る権利が含まれます。その前提条件となるのは、安全で十分な生活空間である。だからこそ、国家社会主義ドイツ労働者党は、党綱領の第3項で、ドイツ国民を養うための土地と土壌、つまり、十

分な生活空間を要求しているのである。

生息地は、種の保存、種の発展、食料と原材料の分野における民族の自由を保証するものであれば十分である。このようなことは、人数の多い民族では、大規模な宇宙秩序の構築、すなわち帝国の創設によってのみ可能となる。

新戦線は、ドイツ国民の十分な生活空間のために戦うために、将来新たに創設されるNSDAPの核として、西ヨーロッパと東ヨーロッパ、アラブ入植地、ペルシャ、トルコを含むヨーロッパの生活空間の大規模な秩序としての第四帝国の創設を目指す(「アラブ、トルコ、パルシス」も参照されたい)。新戦線は、すべての帝国主義と政治の手段としての戦争を否定する。第四帝国は、むしろ、すべての参加民族(チュートン人、ローマ人、スラブ人の家族、および北アフリカと小アジアと近東の人々)が、共通の生活空間において、自由な国家の形成、種の保存と種の発展を可能にする大規模な秩序でなければなりません。

国際主義のさまざまな異端が説くような人種の混乱や混血ではなく、生命の多様性を尊重した自由な国家による帝国(差別、人種隔離、人種法も参照)、平和と正義の秩序である。

64 - ライフプロテクション

国家社会主義の生命保護政策は、環境に対する関心と、国家社会主義の科学的認識論としての生物学的人文主義によって定義された自然存在としての人間に対する関心を包含している。したがって、生命の保護は環境保護であり、人種的衛生であり、健康で自然な環境における自由で健康な国民という目標に資するものである。

したがって、国家社会主義は、何よりも、物質主義の生命に対する破壊的態度と人間的平等のイデオロギー的教条主義に反対する。また、環境を破壊し、民族と国民を生物的・文化的退廃に、したがって、国家の死に追いやる他のあらゆる態度と考え方にも、反対する。生命の保護という考えによって、国家社会主義のイデオロギー的・生政治的目標は、新戦線のゲシュニウムの政治的戦術と結びついているのである。

これらの戦術の二つの焦点は、環境破壊との闘いと外国人の侵入に対する闘いである。新戦線は、このように、国家社会主義における民族主義



(「原始右派」の革命的潮流)と社会主義(「左派」の革命的潮流)を結びつけ、その爆発力で国家社会主義革命を可能にし推進させる政治力学を発動させた第一期の闘争における国家社会主義ドイツ労働者党の戦術を準用する。

同様に、今日のドイツ連邦共和国では、外国人の侵入問題(本来は「右翼」の問題)と環境破壊問題(本来は「左翼」の問題)が、支配体制の最も重要かつ体制を破壊しかねない二つの危機的分野である。新戦線は、「生活保護」というキーワードのもとにこれらをまとめ、その戦略に従って、国家社会主義へのコミットメントと結びつけ、長期的には、同様に、自由資本主義に致命的な影響を与える革命的ダイナミズムを引き起こす。なぜなら、その本質上、人民社会のこうした生活問題の解決は不可能であるためである。

65 - 正統性

国家社会主義の国家論は、合法性と正統性を厳密に区別している。

合法とは、憲法を施行し、それに基づいて、一般的に拘束力のある法秩序を作り出すことが権力政治的に可能なすべての国家である。この国家が、国家社会党(国家社会主義ドイツ労働者党を参照)がこの秩序の枠内でその思想と目標を推進し活動することを可能にする限りにおいて、この合法性を認め、この枠内で戦うのである。

国家社会党は法革命を目指している!

FRGでは、新戦線の思想的共同体が、その要求と国家改革のプログラムを通じて、このための条件を作り出している。優勢な合法性がもはや合法的な党活動のための有意義な余地を残さない場合にのみ、党は、狼男の武装抵抗に至るまで、非合法な闘いを繰り広げるのである。

したがって、国家の合法性が専らその権力の問題であるとすれば、その正当性はその存在目的に依存する。国家は、それ自体が目的なのではなく、目的への手段なのだ。しかし、国家の存在目的は、国家社会主義者の信念によれば、人民と民族という種の保存と発展だけでありうる。この目的だけが、国家に正統性を与える。さらに、自国民の歴史と伝統の尊重と人民

大衆の同意が、国家の正統性の前提条件となる。そして、正当な国家とは、次のような国家である。

- 1. 自らをヴェルキッシュの歴史と伝統の継承者、保存者とみなす。
- 2. 国民の同意に頼ることができる。
- 3. 種や自然に応じた生存とより高い発展を目指し、そのことに人生の目的を見出す。

このことから、今日のドイツを支配しているどの体制も正統ではないことがわかる。この戦後秩序の権力的・政治的合法性に対して、新戦線は、政治的前衛組織として、またドイツ民族の意志の担い手として、NSDAPの思想的根拠に基づく合法性を設定する(『意志』も参照)。合法性と正統性の融合は、新秩序に合流する国家社会主義フォルクスシュタートにおいてのみ行われる。

66 - リベラリズム

リベラリズムは個人主義の政治思想で、後者と同じく啓蒙革命の成果で ある。

啓蒙主義の関心事である、中世の教条主義の鎖と依存からの個人の解放は、極めて正当で必要なものであったが、自由主義は、その一方で、すぐに自然に反する教条主義に陥り、何よりもすべての人の平等という教条を確立してしまったのであった。さらに、自由主義は、自由を、自律的で自己責任のある個人の束縛のなさと理解し、それは区別なくいかなる人間にもなりうるし、なりうるものであった。このようにして、自由主義は、旧来のアリスト的伝統の残滓を解消し、退廃のエンジンとなったのである。それ以来、リベラリズムは、最も有害で心ない唯物論と完全な価値相対主義の政治的仮面である。

リベラリズムとは、マインドの仮面をかぶった無頓着さである!

自由主義は、社会形態である西欧型の民主主義において政治的に実現され、資本主義という経済形態と結合して、現代西欧文明の退廃したマイナス世界の社会・経済秩序である自由資本主義を形成しているのである。

国家社会主義は、自由の理念によって自由主義を克服し、自由主義によって形成された西欧型の民主主義は、人民の共同体の理念によって克服される。国家社会主義によって形成された自由で共同体に縛られた人格は、こうして、自由主義によって形成された操作され、同時に孤立し、思い込みの激しい個人に対して勝利する。

卍の下で楽しむ

国家社会主義者の活動には、明るい場面もあるのですゲルハルト・ラウクの小冊子「Fun Under the Swastika」からの抜粋を紹介します。

39.

旧ニュルンベルク党員集会の会場に鉤十字のポスターを貼っていた。警官が近づいてくるのが見えたので、私は振り返って、貼ったばかりのポスターを背中に隠そうとした。

ドイツ語で「何をしているのか」と聞かれた。

"Ik nix sprechen Deutsch!" と無邪気に答えた。と無邪気に答えました。

"大丈夫、私は英語が話せます。"と完璧なイギリス英語で反論した。"ちょっとどいて、ここで何をしているのか教えてください!"

まあ、引っ越したら、生々しい卍固めのポスターが目立ちましたから ね。嘘をつくのは無意味だった。だから、「国家社会主義者のプロパガン ダを貼っている」と正直に言ったんだ。

その後に起こったことは、嬉しい驚きだった。彼はただ "よろしい、続けなさい!"と言っただけだった。そして、振り返って立ち去った。

40.

ミュンヘンで同志と祝杯をあげたとき、妻と私は少し飲み過ぎてしまった。宿を出ると、すぐに3人の若いドイツ人警官に出くわした。少し酔った妻は、彼らに近づき、ヒトラーの敬礼をし、"ハイル・ヒトラー!"と叫んだ。

「と、私は思いました。

3人の警察官が足を止めた。一瞬、完全に沈黙した。そして、同時に気 を引き締め、踵を返して、ヒトラーに敬礼したのである。

その後、彼らは自分の道を進み、私たちもまた、期待していた逮捕を免れた。







NSDAP/AOは世界最大です

国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物 多くの言語の何百冊もの本 多くの言語の何百ものウェブサイト



